

雑司ヶ谷の建築遺産



を生かしたまちづくりシンポジウム

2016年 12月17日[土] 13:00→14:30

シンポジウムにあたって

——雑司ヶ谷*に残された数々の歴史ある建物。そんな建物とともに豊かなまちをつかっていくにはどうすればよいのか。素晴らしい建物の持つ輝きを今一度確認し、それらを雑司ヶ谷の魅力に繋げるためにはどうすればよいのか、考える機会にしてみてもはどうでしょうか。

当日会場

会場	としまセンタースクエア *裏面地図参照
定員	100名 *入場無料(当日直接入場可能)

お問い合わせ

企画についてのご質問など 薬袋研究室 03-5981-3464
 当日会場や日時についてのご質問など 雑司ヶ谷地域文化創造館 03-3590-1253

主催 雑司ヶ谷未来遺産推進協議会

後援 NPO 法人としまユネスコ協会
豊島区

共催 日本女子大学総合研究所 研究課題 61
「日本女子大学における学生を主体とした地域連携活動の活性化のための調査・研究」

*「雑司ヶ谷」は住居表示上の「雑司が谷」に限定せず、かつて「雑司ヶ谷」と呼ばれていた、現在の南池袋や西池袋の一部も含まれます。

プログラム

開会

事例報告

雑司ヶ谷鬼子母神堂 近江正典氏（法明寺住職）
 雑司が谷旧宣教師館 濱地真実子氏（同館元職員）
 自由学園明日館 有賀寛氏（同館館長）
 日本女子大学明桂寮 薬袋奈美子氏（同大学准教授）

パネルディスカッション

パネリスト 近江正典氏
 濱地真実子氏
 有賀寛氏
 是澤紀子氏（日本女子大学准教授）
 コメンテーター 椎原晶子氏（特定非営利活動法人たいとう歴史都市研究会副理事長 / 晶地域文化研究所代表）
 モデレーター 薬袋奈美子氏

歴史ある建物



雑司ヶ谷鬼子母神堂 (1664年)

緑豊かな境内の中に建つ国の重要文化財。江戸時代からの絵馬も残り、多くの人の熱い信仰を集めていたことがわかります。今でも多くの人の信仰と憩いの場です。



雑司が谷旧宣教師館 (1907年)

宣教師マッカーレブが布教活動を行った拠点となる建物。東京都指定有形文化財として保存・活用されています。子どもへの読み聞かせ会等、心を豊かにする場としても大切に使われています。

未来遺産推進協議会とは

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟により第6回「プロジェクト未来遺産」として、「雑司が谷がやがや」プロジェクト～歴史と文化のまちづくり～が登録されました。この登録を受けて設立されたのが「雑司ヶ谷未来遺産推進協議会」です。

ACCESS としまセンタースクエア（豊島区役所1階）



自由学園明日館 (1921年)

フランク・ロイド・ライト設計の建物で、国の重要文化財に指定されています。学びの場として、またウェディング会場としても利用されています。



日本女子大学明桂寮 (1927年)

近代建築家 佐藤功一による作品。日本女子大学の寮ですが、現在は休寮中。雑司ヶ谷霊園にも近い丘の上に佇む瀟洒なRC建築です。

バス	「豊島区役所」バス停 徒歩2分	A:バス停・都バス(都02乙系統)・(草63-2系統)
	「東池袋1丁目」バス停 徒歩4分	「東池袋1丁目」
電車	池袋駅 徒歩9分	B:バス停・国際興行バス(池07系統)「豊島区役所」
	東池袋駅 地下通路直結	C:東京メトロ有楽町線「東池袋駅」
	都電雑司ヶ谷駅 徒歩3分	(駅～庁舎間地下通路)
	東池袋四丁目駅 徒歩4分	D:都電荒川線「東池袋四丁目」
		E:都電荒川線「都電雑司ヶ谷」